

## 地域社会と緊密な連携を築く

# 家庭・地域・学校をつなぐPTA活動

稲沢市立片原一色小学校PTA

### 1 はじめに

明治40年創立の本校は、今年度で114年目を迎えた。稲沢市のほぼ中央に位置している。児童数は138名、学級数は特別支援学級（3学級）を含めて9クラスの小規模校である。校訓「かしこさ・やさしさ・たくましさ」の実現のために自他ともに尊重する心豊かな「一色っ子」の育成を目指している。

### 2 研究への取組

#### (1) 研究のねらい

本校は、三世帯の家庭が多く、地域に温かく見守られている。地域では子ども会や体育振興会などの組織が根付き活動が行われている。本研究ではこれまでのPTA活動を見直すとともに、子どもたちの成長のためにPTAが主体として家庭、地域とどう連携すると学校支援活動の充実に結びつくかを考え取り組むこととした。

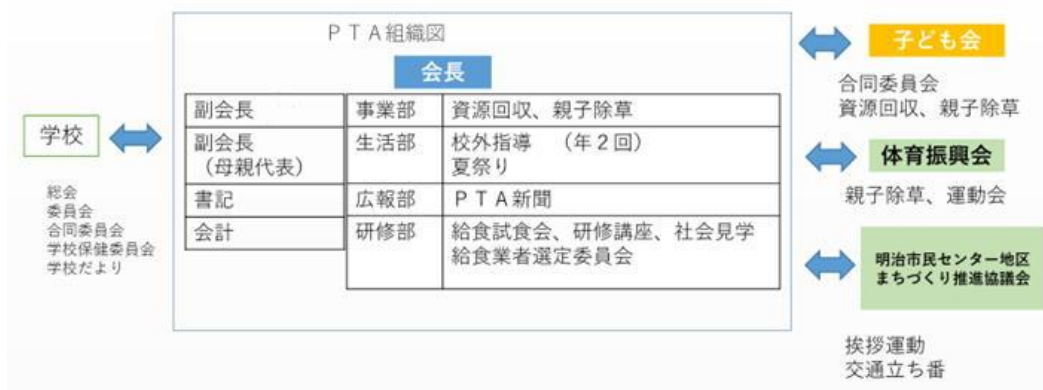


【南側から見た校舎】

#### (2) 研究の組織

本校のPTA組織は、5名の役員と、6名の学年委員、11名の字委員（5役を含む）から成り立っている。広報部、生活部、研修部、事業部の4部会から成り、さまざまな行事の企画・運営に積極的に取り組んでいる。

また、地域では明治市民センター地区まちづくり推進協議会、子ども会や体育振興会、後援会などの組織があり、学校（児童）や保護者、地域と結びついている。



【PTAとのつながり】

### 3 実践活動の概要

#### (1) P T A活動

##### ① 生活部

###### ア 安全マップの作成協力（4月）と校外指導（夏休み・冬休み）

子どもたちの安全を守るためにP T A字委員やP T A学年委員が危険箇所の報告をすることで、学校安全マップの作成に協力している。また、報告に上がった箇所を含めて夏休みや冬休みには校外指導として、P T A字委員やP T A学年委員が、3人1組になって児童の安全のために地域を巡回している。今年度は学校臨時休業で夏休み期間が短縮されたり、不要不急の外出を控えなくてはならなかったりしたことから、P T Aの役員が日常の買い物で出かけられる時間帯に巡回するようにして児童の見守りに協力した。

###### イ 夏祭り（8月）

8月の第一土曜日に片原一色校区運営協議会主催の夏祭りが行われる。毎年たくさんの方々が集まって盛大に行われている。夏祭りに欠かせない盆踊りの太鼓演奏は5・6年生が担当である。P T A字委員は演奏に向けての練習、当日の演奏の準備や祭りに参加する子どもへの品物の配布などを担当している。この祭りは子どもたちと地域を結びつける大切な行事となっている。本年度は中止となったことが残念である。



【夏祭りの様子（昨年度）】

##### ② 研修部

###### ア 研修講座（7月）

P T Aの親睦を図るために研修講座を開いている。昨年度は、「京風わらびもちと季節の和菓子一品づくり」を、地域で和菓子屋を開いている方に協力していただいた。家庭科室を使って、火加減に気を付けながら楽しいひとときを過ごすことができた。



【研修の様子（昨年度）】

###### イ 学校保健委員会への参加（6月・2月）

6月は毎年、学校保健委員会にP T Aがオブザーバーというかたちで参加している。昨年度のテーマは「姿勢について考える」である。学校公開日に合わせて開催され、児童の様子を知る機会となっている。また、健康的で安全な生活を送るために学校で取り組んでいることに対して、保護者の関心を高めている。今年度はオブザーバーとしての参加が見送られたのが残念である。

2月は養護教諭から、児童の健康や成長について健康診断の結果

の報告を聞いている。また、学校医から健康についての話を聞く機会にもなり、健康への意識を深めている。

ウ 給食試食会の開催（5月）

児童が日頃食べている給食に関して関心を高めてもらうための活動として、1年生保護者を対象に給食試食会を行っている。残念ながら、今年度は中止となってしまったが、学校栄養士から栄養やアレルギーに関する講義を聴いたり、児童の好きな給食メニューの「からあげのレモン煮」のレシピを紹介してもらったりするなど参加者からは好評を得ている。「家庭でも給食のおかずを作ってみたい」などの意見が聞かれ、食の大切さを高めることができている。



【給食試食会（昨年度）】

エ 給食物資選定委員会への参加（1月）

自校方式の給食を実施していることから、給食物資の納入業者の選定に加わり、児童の食についての安全に関わっている。

③ 広報部

年間を通してPTA活動を随時学校だよりに掲載し、PTA活動を知ってもらえるよう努めている。また、学期ごとに学校と地域との連携の様子をPTAから地域へ情報発信している。年度末には6年生の卒業に合わせて学校新聞卒業記念号として発行し、子どもたちの成長の過程を伝えている。

(2) 子ども会との連携

① 合同委員会（5・8・11月）

年に3回、合同委員会を開くことで子ども会との連携を図っている。PTA活動への理解と資源回収や親子除草など合同で企画・運営することで、学校と子ども会をつなげる役割を担っている。児童の減少によって子ども会がない地区がでてきているが、PTA活動の理解者として子ども会との連携は今後も続けていきたい。

② 資源回収（5・9・11月）

PTA字委員は子ども会の役員と協力して資源回収の案内を地域の方々に配布したり、当日は地域から出された資源を運搬したりしている。当日は保護者だけでなく、子どもたちも積極的に参加し汗を流して活動する姿が見られる。子どもたちのよさを生かす一役を担う活動となっている。また収益はよりよい学校環境や学習環境づくりに貢献し、収益の一部は子ども会にも還元して、子



【資源回収（昨年度）】

ども会の活動に役立つようにしている。

③ 親子除草（8月）

2学期前の休業日を利用して子ども会と合同で運動場の除草作業を行っている。2学期の運動会に向けて運動場の整備に貢献している。運動場を各字（地域）で分担して、午前中1時間程度活動している。



【除草作業の様子】

毎年180人程度の参加がある。今年度は3密を防ぐために作業を2部に分けて時間を短縮するなどの工夫をすることで実施することができた。

(3) 体育振興会との連携

① 親子除草への協力依頼（8月）

運動場整備に体育振興会の協力をいただいている。親子除草では作業しきれないプール周りや樹木の剪定（アメリカの刈り込み）など手伝ってもらっている。振興会の役員の中には学校の保護者だけでなく、すでに卒業した児童の保護者もいるので、今の学校の様子を知っていただく機会にもなっている。



【剪定の様子】

② 運動会（9月）

午前中は学校主催の運動会、午後からは体育振興会が主催する体育祭を実施している。運動会の準備のため、サッカーゴールやバスケットゴールの移動、児童の熱中症対策のためのテントの設営やトラック周りの保護者席の設営など運動会開催の前日の準備に協力していただいている。今年度は残念ながら中止となってしまったが、運動会や地域体育祭を通した結びつきを大切にしていきたい。

(4) 明治市民センター地区まちづくり推進協議会との連携

明治市民センター地区まちづくり推進協議会と一緒にあいさつ運動や交通立ち番を行っている。今年度は旗やタペストリーを用意していただいた。早速学校で配置してもらい、児童への啓発に役立っている。

#### 4 おわりに

本研究を通じて、PTA活動が家庭・地域との協力で行われていること、子どもたちの健やかな成長には、家庭・地域と連携を一層深めていくことが大切であることに気付くことができた。今年度はコロナウイルス感染拡大防止のためPTAの多くの活動が中止に追い込まれた。中止されたことでこれまでの活動の大切さを再確認することができた。今後は、状況に応じて新たな方法を模索しながらこれまでの活動のよさを失うことなく子どもたちの健全な育成のために家庭、地域との連携を大切にして取り組んでいきたい。